

## 「宣教の愚かさ」



お茶の水クリスチャンセンター  
理事長

### 村上宣道

私が偉人伝や英雄伝などに夢中になっていた中学生の頃、「ほんとに偉い人というのは、バカになり切れる人のことかもしれない」などと結論づけた。それで「偉大なるバカたれ」というのをモットーにして机のまえに貼ったりしていたものである。

後に、ドストフェスキーの「白痴」、トルストイの「イワンの馬鹿」、遠藤周作の「おばかさん」などの作品に出会って、我が意を得たりと思うようになったものだ。

しかし聖書を読むようになって「神の愚かさは人よりも賢い」とい言葉に衝撃を覚えた。神に対して「愚か」などという言葉が使われているのは驚きというほかない。しかし、「正しい人」、「情け深い人」のためでもなく、「罪人」で「敵でさえ」あったもののための死というその十字架、これを愚かと言わずなんというべきか。ここに神の愚かさの真骨頂をみたのである。

そこで神は「宣教の愚かさによって、信じる者を救うこととされた」ということになる。神の愚かさから始まった宣教は人間の小賢しい知恵や方法で遂行されるものではない。神の愚かさにならい、愚かさに、バカに徹するものたちによって遂行されるものだという事なのであろう。それが神の戦略であり知恵だからである。

宣教が世界の至る所にまで広がり、日本にまで及んできているのは、地位も名誉も財も投げうち、いのちを賭して、まさに愚かさに徹した人たちによって今日あることを感謝しなければならない。

そして、日本の宣教のため祈ることに使命を感じ、TPCを始め、またこれを支えてくれている人々も「宣教の愚かさ」に徹した人々であることを覚え感謝を禁じえない。こうした人々がいるかぎり、日本の宣教には希望があると私は思っている。

### TPCの活動目的

- (1) 閉塞感のある日本のキリスト教会に元気を与える
- (2) 超教派として活動する
- (3) 毎日、礼拝を捧げ、祈り会を行う
- (4) 伝道、学びなどのために貸室を提供する